

大会実施要項

1	趣 旨	九州各県の代表チームの交流を通し、九州の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させるとともに、心身を鍛え、リスペクトの精神を養うことで、心身の健全な育成を図ることを目的として、本大会を開催する。
2	名 称	J A全農杯 全国小学生選抜サッカー IN九州 兼：KYFA第27回九州U-11サッカー大会in長崎
3	主 催	日刊スポーツ新聞社、(一社)九州サッカー協会
4	主 管	(一社)九州サッカー協会 ジュニア委員会、(一社)長崎県サッカー協会 第4種委員会
5	特別協賛	全国農業協同組合連合会 (J A全農)
6	協 賛	佐賀県農業協同組合 熊本県経済農業協同組合連合会 宮崎県経済農業協同組合連合会 鹿児島県経済農業協同組合連合会 沖縄県農業協同組合
7	協 力	(株) モルテン
8	期 日	令和3年3月27日(土)～28日(日) ※代表者会議：3月21日(日) 18:00～WEB上で開催
9	会 場	遊学の館多目的芝生広場 所在地：長崎県雲仙市国見町神代丙1230-1 ☎0957-78-3331
10	参加資格	① 2020年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。 ② 各県予選を勝ち抜いた各県代表チームであること。 ③ 選手は、上記チームに所属し日本協会発行の登録選手証を有する小学5年生以下であること。 ④ 1チームの選手数は18名以内とする。 ⑤ 健康であり、且つ保護者の同意を得た選手であること。 ⑥ 傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入しているチーム及び選手であり、大会中におけるケガや賠償金の発生する損害については、当事者で解決すること。 ⑦ 引率指導者は、当該チームを掌握指導する責任ある指導者であること。 ⑧ ベンチに入ることができる指導者はエントリー時に登録された2名以上5名以内とする。 ⑨ ベンチ入りする指導者の内1名以上は、原則として日本サッカー協会指導者ライセンス(D級以上)の保有者とする。 ⑩ 予選大会に他チームでエントリーした移籍選手の本大会出場は認めない。
11	出場枠	各県2チームの計16チーム 各県大会の順位等を基に、第1及び第2代表を決定しておく。
12	大会参加について	① 3月7日(日)までに、大会参加費10,000円を、必ずチーム名で下記へ振り込むこと。 振込先 親和銀行 大波止支店 普通 3199603 名 義 一般社団法人長崎県サッカー協会 会長 殿村 育生 ② 3月7日(日)までに、A、B、Dの各申込書をEメールで下記へ送信すること。 ※Dは、押印後、写真またはスキャンデータで送信。 A B D→ shizukukom@yahoo.co.jp 大会事務局 小村 貴光 ③ エントリー後の選手の変更は認めない。 ④ 連絡先 (大会事務局) (一社)長崎県サッカー協会 第4種委員会 副委員長 時津 太滋 090-2714-7879
13	抽選方法	九州ジュニア委員長会議(2020年12月)に抽選し決定済
14	競技規則	2020/2021年度(公財)日本サッカー協会サッカー競技規則及び8人制サッカー競技規則に基づく。但し、以下の項目を本大会規定として定める。 ① 競技者は8人(内1人はゴールキーパー)とし、6人未満となった場合棄権とする。 ② 競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充できる。 ③ 各会場にはマッチコミッショナーと兼務するウェルフェアオフィサーを置く。
		本大会は、日本サッカー協会が定める懲罰規定に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。 ① チームの選手・役員が重大な問題を起こした場合は、九州ジュニア委員会で組織する本大会の規律・フェアプ

15	懲罰	<p>レー委員会及び（一社）九州サッカー協会規律・フェアプレー委員会並びに（一社）九州サッカー協会理事会で審議し、処分を行う。</p> <p>② 本大会において、異なる試合で警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。また、退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については上項と同様に処理する。</p> <p>※各県予選の警告については本大会へ累積しない。但し、各県予選の決勝戦において退場処分を受けた競技者は、本大会1回戦への出場はできない。</p> <p>③ 本大会規定に違反し、その他不適切な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する。</p> <p>④ 異議：ベンチ（監督、コーチ、スタッフ等）が審判の判定に対して異議を唱えたり、選手に対し罵声を浴びせる等のネガティブなコーチングを行ったりして、主審から警告及び退場の処分を受けた場合は、競技者と同様に②を適用する。</p>												
16	競技時間	<p>前・後半20分の計40分とし、インターバルは10分（前半終了の笛から後半開始までの時間）とする。</p>												
17	選手交代	<p>① 登録できる交代要員及び交代人数は最大10名とし、自由な交代とする。</p> <p>② 交代の手続きは（公財）日本サッカー協会8人制サッカー競技規則に基づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交代して退く競技者は交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし退くGKは、一番近いラインから出なければならない。 ・ 交代要員は交代ゾーンからフィールドの中に入り、競技者となる。 ・ 交代については、主審の承認を得る必要はない。 ・ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で試合停止中に入れ替わることができる。 												
18	競技方法	<p>① 16チームによるトーナメント方式とする。</p> <p>② 競技時間内に勝敗が決しない場合は、PK方式により、次回戦への進出チームを決定する。準決勝以降においては、10分間の延長戦を行い、なお決しない場合は、3人制のPK方式により決定する。</p>												
19	審判	<p>4人制、有資格者で行う。主審は3級以上の者が担当する。</p>												
20	ボール	<p>少年用4号検定球とする。（大会本部で準備する）</p>												
21	競技用具	<p>① 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に識別できるものを着用しなければならない。</p> <p>② 正・副の2色については明確に異なる色とする。</p> <p>③ ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主樽色が同色系であれば着用することができる。</p> <p>④ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同色系でも良いものとする。</p> <p>⑤ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。</p> <p>⑥ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。</p> <p>⑦ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。</p> <p>⑧ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。</p> <p>⑨ アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。</p> <p>⑩ シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。</p> <p>⑪ ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は原則認めない。</p> <p>⑫ ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会「ユニホーム規程」に基づき認められる。但し、本大会の協賛・協力関係と類似したスポンサー広告やアルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については禁止とする。</p> <p>⑬ 日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）に所属するクラブの下部組織にあたるチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニホームを使用することができる。ユニホームの広告表示については（⑫）に準じる。</p> <p>⑭ 次回戦進出チームを決定するPK方式においてFPをGKとする場合、その選手と同番号のGKユニホームのシャツまたはFPサブユニホームを着用させる。</p>												
22	競技場	<table border="0"> <tr> <td>① コート</td> <td>縦68m</td> <td>横50m</td> </tr> <tr> <td>② センターサークル</td> <td>半径7m</td> <td>※ペナルティーアークもこれに準じる</td> </tr> <tr> <td>③ ゴールエリア</td> <td>4m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ ペナルティーエリア</td> <td>12m</td> <td></td> </tr> </table>	① コート	縦68m	横50m	② センターサークル	半径7m	※ペナルティーアークもこれに準じる	③ ゴールエリア	4m		④ ペナルティーエリア	12m	
① コート	縦68m	横50m												
② センターサークル	半径7m	※ペナルティーアークもこれに準じる												
③ ゴールエリア	4m													
④ ペナルティーエリア	12m													

		⑤ ペナルティーマーク 8 m
		⑥ ゴール 少年用ゴール・高さ2.15m、幅5m
23	新型コロナウイルス感染症対策	<p>本大会の全日程は、「JFAサッカー活動の再開に向けたガイドラインに沿って、以下の感染防止対策を行なった上で、実施していくものとする。</p> <p>また、これらの対策については、選手の保護者等にも周知し、徹底を図るものとする。</p> <p>① 選手及び指導者、チームサポーター、大会運営スタッフは、大会事務局が配布する「健康チェックシート・同意書」に健康状態等を記入し、大会本部に提出する。少しでも体調に異変を感じたら、大会には参加しない。一般観戦者も、会場入場の際に検温及びチェックシートの記入を行い、許可を得た者のみ会場に入場できるものとする。</p> <p>※提出された「健康チェックシート・同意書」は、大会事務局で厳正な管理のもとに保管し、試合から1ヶ月経過した時点で処分する。</p> <p>② 大会本部は、会場各所にアルコール消毒液を準備し、来場者すべてにこまめな手指消毒と手洗いを呼びかける。</p> <p>③ 参加チームは、アルコール消毒液を準備し、選手及びチーム関係者の手指消毒を適宜行う。</p> <p>④ 選手及び指導者は、以下の点に十分配慮し、試合や試合のための準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合会場への行き帰りや控え場所、ベンチ内ではマスクを着用する。マスクを取る場合は、他人と許可を取るようにする。 ・飲料水やタオルの共用はしない。 ・座席の間隔を空ける等、ベンチ内での人員の配置について十分に配慮する。 ・ハイタッチ、握手、抱擁、円陣等は行わない。 ・ミーティングや控え場所での待機、試合観戦の際には、社会的距離（最低1m、できれば2m）を確保する。 ・食事の際は、できるだけ向かい合わないようにする。 ・大声を上げる応援は行わない。 <p>⑤ 大会後に、感染が疑われる症状が出た者あるいは感染者と濃厚接触の可能性のある者がいた場合は、速やかに大会事務局に報告する。</p>
24	その他	<p>① 各会場にはマッチコミッショナーと兼務するウェルフェアオフィサーを置く。</p> <p>② 代表者会議：令和3年3月21日（日）18：00～WEB上で開催</p> <p>③ 開会式：実施しない</p> <p>★会議、試合等の時間に遅れ、運営に支障をきたす場合は、失格となる場合がある。</p> <p>④ 閉会式：閉会式は実施しないが、表彰対象チームは試合終了後にその都度表彰を実施する。</p> <p>⑤ ウォーミングアップは、次試合チーム優先で所定の場所で行う。</p> <p>⑥ 優勝・準優勝チームについては、2021年5月3日～5日に開催される「JA全農チビリンピック2021 JA全杯全国小学生選抜サッカー決勝大会」への出場権が与えられる。</p> <p>チーム事情により出場できない場合は、この大会の上位より繰り上げ推薦とする。</p>